

# External Supplier Control Obligations

支払いプロセス

管理対象	管理内容	本件が重要である理由
1. 現地法制要件の遵守	<p>サプライヤーは、サプライヤーが処理する支払いに適用される法規制上の要件が適切に文書化され、要件に従っていることを確認するものとします。</p>	<p>支払いが適用される法規制上の要件に従って処理されることを確認するものとします。法規制上の要件を遵守しない場合、罰金および風評上の問題が発生する場合があります。</p>
2. 支払い指示の完全性	<p>サプライヤーは、支払いの開始から決済まで、支払いデータの完全性と正確性が維持されていることを確認するものとします。これには、支払い情報が以下であることを確認することが含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 問題の発覚がない場合は変更はなく、ライフサイクル全体を通じて当初の情報のみであること</li> <li>• 当初の要請、適用される規制、スキームの要件に従って処理および決済されること</li> <li>• 重複していない（すなわち、二重決済が特定され、防止・訂正されている）。</li> </ul>	<p>この要件が実施されない場合、Barclays は、サプライヤーが支払いサイクル全体を通じて維持される支払い指示の完全性を保証するために十分な管理を設けているという確証を得ることができない場合があります。これにより、不正な支払い、金融犯罪管理が有効に機能していない、支払いが不正確に処理されている、関連の風評被害および/または規制上の罰金/問責につながる可能性があります。</p>
3. 送信者の認証	<p>サプライヤーは、支払い要求が正当なものであることを適切に検証する必要があります。</p> <p>サプライヤーは、支払い請求が法的要件に従って正当な出所からのものであることを確認し（「身元確認」など）、支払い指示が完全であることの妥当性を確認する（すなわち、支払い指示が変更されていないことを確認する）ものとします。</p>	<p>この要件は、支払い指示が正当なものであることを確認することにより、支払い指示の合法性を確認するためのものです。こうした管理は、不正支払いに関連する損失、関連する風評被害、および/または規制上の罰金/非難のリスクを軽減します。</p>
4. 送信者の権限	<p>サプライヤーは、各支払い請求が事前に決定および承認された個人によって承認および許可されていることを確認するものとします。</p>	<p>この要件は、支払い指示の署名が権限のある者の署名であることを確認することにより、支払い指示が正当なものであることを確認するためのものです。こうした管理により、誤ったまたは不正な支払いに関連する損失、関連する風評被害、および/または規制上の罰金/非難のリスクが軽減されます。</p>

<p>5. 支払いのライフサイクル全体を通じた承認</p>	<p>サプライヤーは、支払いライフサイクル全体を通じ、支払いの承認者が規定の権限範囲（事前に定義され承認された権限範囲）内で承認を行っていることを確認するものとします。</p> <p>権限範囲は年に少なくとも1回、または必要に応じて見直しが行われるものとします。</p>	<p>この要件は、支払いプロセス全体を通じて付与される異なるレベルの権限が、ビジネスで確立され承認された権限委譲と合致したものであることを確認することにより、支払い指示の妥当性を確認するためのものです。この管理は、詐欺的な/不正な支払い、関連する風評被害、および/または規制上の罰金/非難に関連するリスクを緩和します</p>
<p>6. 支払いライフサイクル全体を通じた独立レベル</p>	<p>サプライヤーは、支払い承認者が独立した立場にあり、指示を作成、修正するための権限を持たないことを確認するものとします。</p>	<p>この管理は、独立した個人により、潜在的な不正確さまたは潜在的な問題を事前に特定し、詐欺的な/不正な支払い、関連する風評被害および/または規制上の罰金/非難に関連する損失のリスクを軽減します。</p>
<p>7. 支払い処理の遅延</p>	<p>サプライヤーは、SLAの履行を確実にするために、合意されたまたは法律で定められた最長実施期間（顧客および支払い方式の要件）に従って、各支払いが適時に処理され、完了することを確実にするものとします。</p>	<p>この要件は、サプライヤーにより処理される支払いのすべてが、適用される支払い/カードスキームの決算日に準じて、また顧客の要件に応じて処理されることを確認するためのものです。これは同時に、支払い処理遅延に伴うリスクを軽減します。支払い指示の処理遅延は、顧客の不満と苦情を増大させ、潜在的な顧客離れと風評被害を招く場合があります。</p>
<p>8. 支払い指示送信のための適格な通信手段と送信手段</p>	<p>サプライヤーは、支払い指示を送信するための通信および送信手段が文書化されており、適切なレベルの管理の下で許容される方法のみが使用されていることを確認するものとします。</p> <p>禁止されている手段は、リムーバブルメディア（フロッピーディスク、CD、DVD）、外部記憶装置（USBスティック、USBハードディスクなど）です。</p> <p>許容された手段は以下の2種類に分類されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 制限された手段には、対面、ファックス、電子メール、電話/口頭、紙、表計算などが含まれ、支払いプロセスのサプライヤー管理義務が設定されており、その手段に関連するリスクを緩和するために適切に適用されている場合に限り、使用されます。</li> <li>2. 望ましい手段は、いかなる人物も支払いを作成、変更できないオンラインおよび自動化システムです。</li> </ol>	<p>Barclays は、情報リスク（データプライバシー）、詐欺リスク（データの操作）、サイバーリスク（サイバー脅威）などの複数のリスクを緩和するため、支払い指示送信手段において禁止、制限、承認された手段についての規定を設けています。</p> <p>リムーバブルメディア（USB、CD など）のフォーマットは禁止されており、Eメールなどのフォーマットは制限されています。Eメールは、十分な管理が設けられている場合のみ許容されます。</p>

9. 役割と責任	<p>サプライヤーは、支払いプロセスのリスク管理のための役割と責任を定義し、伝達するものとします。これらは、サプライヤーの業務モデルまたはビジネスに重要な変更があった場合には見直しが必要です。</p>	<p>この要件は、両当事者側の役割と責任が定義、文書化、承認されることを確認するためのものです。これは、紛争が発生した場合のサポートとして機能します。</p>
10. 支払い/カードスキームリスク	<p>サプライヤーは、Barclays に代わって処理した支払いが、すべて支払い/カードスキーム要件に従って処理されていることを確認するものとします。</p>	<p>この要件が実施されない場合、Barclays は、サプライヤーが、支払い/カードスキーム要件に従わないことにより発生するリスクに対応するための十分に文書化された手順を備えているという確証を得ることができない場合があります。</p> <p>不正に処理された支払い、遅延した支払い、認証または承認に失敗した支払い、適用される支払いに関する規制に従わない支払いは、関連リスクレベル 3 に照らして報告される必要があります。また、支払いに関する規制に従わない場合、行動リスクの下での規制上の違反報告のためのガバナンスプロセスに従うものとします。</p>
11. スキームリスク評価	<p>サプライヤーは、少なくとも年に1回、直接または間接を問わず、メンバーシップを所有する各支払/カードスキームについて、総合的なスキームリスク評価を実施するものとします。リスク評価は、スキームオーナーおよび上級経営陣の承諾を得るものとします。</p> <p>プロセスや規制に重大な変更があった場合、または支払い/カードスキームのメンバーシップやスポンサーシップを獲得する前には、スキームリスク評価を追加して完了する必要があります。</p>	<p>支払い/カードスキームリスクとは、スキームメンバーシップを効果的に管理していないことに関連するリスクのことです。</p> <p>支払い/カードスキームの定義。</p> <p>決済プロセスを管理するルールを規定した支払いネットワークのシステム/外部管理者（BACS、CHAPS、Faster Payments、Cheque、Credit Clearing Company 等）。支払い/カードスキーム（Visa や MasterCard など）は、送金または決済を管理しますが、ベースとなる契約の決済を円滑にするためのものではありません。</p> <p>この管理要件は、支払い/カードスキームに関連する主要リスクが適切に管理されていることを確認するためのものです。不適切な評価が行われた場合、不正支払い、不正確に処理された支払い、関連の風評被害および/または規制上の罰金/非難が発生する場合があります。</p>

12. スキーム所有者	<p>サプライヤーは、全体的な関係維持のために支払い/カードスキーム所有者を指名し、スキームの取り決めに関する継続的なリスク監視が実施されていることを確認するものとします。</p> <p>またサプライヤーは、スキーム所有者がガバナンス経路に従ってスキームリスクを監視、報告していることを確認するものとします。</p>	この要件は、関係をよりよく管理し、適時の報告を行うために、関連する支払い/カードスキームの所有者が指名されていることを確認するためのものです。
-------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------

頭字語	定義
支払いプロセスリスク	支払いプロセスリスクとは、支払いプロセス業務上の誤りのリスクを指す
手動	エンドツーエンドの引/支払いプロセスのライフサイクル内のある時点で人的介入が発生するもの。
手動支払い	手動支払いとは、一方の当事者から他方へ向けた資金の出入または内部送金を指し、外部スキームまたはコルレス銀行業関係を介して決済され、開始から決済までの支払プロセスの任意の部分が、訂正または修正を含め、手動で行われるものを指す。
支払い指示送信のための適切な通信手段と送信手段	<p>禁止された手段：外付けドライブ/USB/フロッピーディスク/CD/ディスク</p> <p>制限された手段：支店/手渡し/ファックス/Eメール*</p> <p>適格な手段：オンラインバンキング、モバイルバンキング、承認された選好内におけるその他の定義、合意された手段</p> <p>* 制限された手段に関する注記：これらの手段は、方針に沿った適切な管理が設けられている場合のみ使用できます。</p>
支払いライフサイクル	支払いの経路において、支払いが開始、取得された時点から開始され、支払いが外部決済システムにより相手側と決済された時点で終了する。
送信者	支払いリクエストを送信する個人。
支払い/カードスキームリスク	<p>支払い/カードスキームリスクとは、支払い/カードスキームのメンバーシップ、スキームの構造および運用に関連する、以下の主なリスク分類の総称です：</p> <p>・ ビジネスリスク：負の金融ショックに関する懸念の高まりにより、支払い/カードスキーム/システムまたはその任意の構成部分（インストラクタチャプロバイダーによるサービスなど）を保持できないリスク。</p>

- ・支払いリスク：スキームの別の参加者が、スキームの規則の下において、支払い期限内に財務上の義務を果たせない、または果たさないリスク。または決済機関などの当該義務の決済を促進する別の機関が破産するリスク。
- ・オペレーショナルリスク：システムオペレーターまたはスキームのコアプロバイダーが、不十分なまたは不具合のある内部プロセス、人員、およびシステムのために、意図した支払いの処理または決済を行うことが業務上不可能となるリスク。